

練馬区における外環の地上部街路 あり方(複数案)に関する 広く意見を聴く会の記録

東京都は、東京外かく環状道路の地上部街路（外環の2）の必要性やあり方などについて、広く意見を聴きながら検討を進め、都市計画に関する都の方針を取りまとめることとしています。

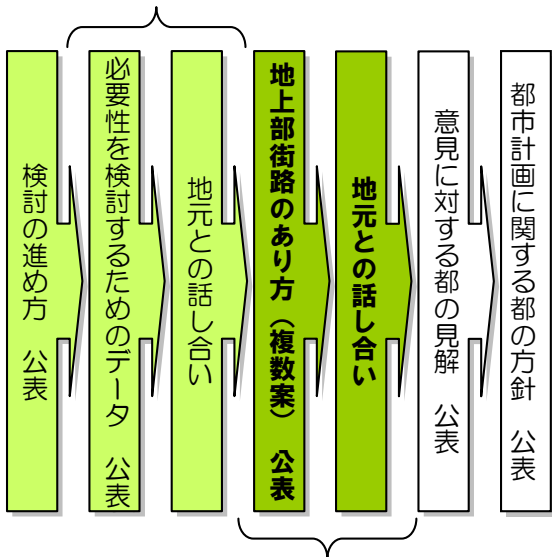
この一環として、練馬区における外環の地上部街路のあり方（複数案）を作成し、地域の皆さんがこの地上部街路に期待する機能などについてご意見を聴くため、平成26年1月に「広く意見を聴く会」を3回開催しました。

このリーフレットは、「広く意見を聴く会」でいただいたご意見の概要です。

検討のプロセス

話し合いの会（平成22年6月～平成23年8月）

広く意見を聴く会（平成23年11月）



広く意見を聴く会（平成26年1月）

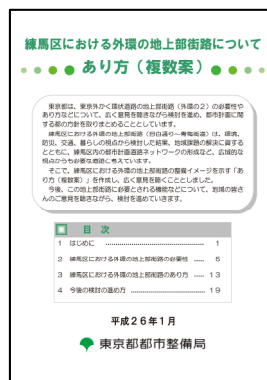
オープンハウス（平成26年2月）

広く意見を聴く会の概要

開催日	場所	来場者
平成26年1月16日	勤労福祉会館	111名
平成26年1月19日	上石神井小学校	102名
平成26年1月22日	石神井中学校	83名

いただいたご意見カード：89通（平成26年2月末現在）

■配布したパンフレット



■広く意見を聴く会の様子



お問い合わせ先

東京都都市整備局 都市基盤部 街路計画課 外かく環状道路係

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 第二本庁舎22階南側 電話：03-5388-3279

ホームページ：http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/kiban/gaikaku/（関連資料の公表先）

広く意見を聴く会でいただいたご意見の概要

地上部街路の必要性についてのご意見

地域の現状

- 練馬区西部地域の道路は明らかに不足（特に南北方向）
- 南北道路は狭いので、渋滞も度々発生している
- 狭い生活道路をバスが走る。安全面から早期改善が必要
- 歩道のない道路が多い。事故の危険性を感じる
- 子どもが救急車を利用したときに時間がかかった
- 避難路としての道路整備が他地域と比較して著しく遅れているとは思わない
- 南風と北風が多いため、南北道路は延焼防止にならない

他の施策を優先すべき

- 狭い道路の拡幅に力を注ぐべき
- 耐震・耐火住宅への建替えとセットで進めるとよい
- 今ある道路の歩道をしっかり整備してほしい
- 西武新宿線の踏切解消を優先にすべき

地上部街路の都市計画

- 幅員40mは広いと思ったが、先見の明がうかがえる
- 沿道環境を保全し立ち退き戸数を減らすために、外環本線を地下化したのだから、地上部街路は廃止すべき
- 50年前の計画を進めるのは時代錯誤
- 地上部街路の計画を知らない人が多い
- 都市計画の詳細な図がほしい

地上部街路は必要、不要

- 地元の発展のため、地元の人は長い間待ち望んでいる
- 練馬区だけでなく、東京の西側の交通を大きく改善する
- 首都直下地震への備えのためにも、早期完成を望む
- 交通安全の点から重要度が高い
- 人口減や若者の自動車離れが進んでいるため不要
- 広幅員道路は、郊外の住宅地である石神井地域には不要
- 青梅街道I Cと同じ位置の地上部街路は撤回すべき
- 道路がどうしても必要であれば、スタート地点に戻って、地域にふさわしい必要最小限の道路を整備すればよい

地上部街路の代替機能

- 廃止案を含めて検討すべき。どうしたら廃止できるのか
- 代替ルート案は、南北、東西に吹く風にも強く、石神井公園と小中学校を結ぶことから優れている
- 既存道路である代替ルートを拡幅する方が現実的
- 幅員18m、22m案の代替案を示してほしい

地上部街路の整備による影響が心配

- 地上部街路の整備により、緑地が減るのではないかと
- 石神井公園の生態系が崩れるのではないかと
- 騒音や排気ガスによる住環境の悪化が心配
- 地域分断や交通事故が心配
- 首都直下地震が発生した場合、街路樹の倒壊が心配

地上部街路に期待する機能についてのご意見

- 良好な都市環境を考えると、幅員40m案がベスト
- 幅員40m案で、バス、タクシーの専用レーンや、ウォーキング、ジョギングの専用レーンをつくってほしい
- 幅員18m、22m案でも十分この地域に効果があると思うが、将来のことを考えると40m案に賛成したい
- 理想的には幅員40m案だが、実情に沿うのは幅員22m案
- 早期完成や影響を受ける権利者のことを考えると、幅員40m案にこだわる必要はない
- 幅員22m案は、歩行者と自転車の分離も可能で、街も分断されないので評価する
- 自転車道に賛成。幅員22m案がよい
- 植樹帯が広いと管理費がかさむため、幅員22m案がよい

- 幅員18m案は自転車の安全性に不安がある
- 自転車レーンを省略した幅員12mで十分
- 自動車利用者にとっては、往復4車線が使い勝手がよい
- 一般車両の通行を不可とし、自転車、バス、緊急車両の専用道とすべき
- 乳母車や車椅子が安心して通れる歩道にしてほしい
- 街路樹は常緑樹がよい。維持費が安い低木がよい
- 車道に挟まれた緑地帯では子供は遊ばない
- 緑地帯は道路の両端につくってほしい
- 道路とは別に豊かな公園等を整備すべき
- 特に幅員40m案は、地域交流の障害となり、幼児や高齢者の交通事故も心配

検討の進め方についてのご意見

広く意見を聴く会の運営方法

- 必要性や整備方針が良く理解できた
- 必要性がわからない。説明やデータが不十分
- 住民の声を聴いていない。丁寧に聴いてほしい
- 質疑応答の時間をもっととるべき
- 賛成の人は発言しない。反対意見ばかり残ることが不安
- パンフレットを全戸配布すべき
- 広く意見を聴く会での意見を集約すべき

検討の進め方

- 地上部街路の具体案が示されてよかった
- 今後の進め方やスケジュールが知りたい

- 今後とも住民の意見をよく聴いて計画してほしい
- 都市計画変更する場合、権利者に丁寧な説明が必要
- 練馬区が実施したパブリックコメントの内容を参考に、都の案をまとめてほしい
- これまでの意見が反映されていない
- これまでの意見に対する都の回答がない
- 幅員40m案ありきではないか
- 地域住民が嫌だといっても進めるのか
- 知事不在の中で進める理由は
- 練馬だけ切り離して進めるのか
- 杉並、武蔵野の話し合いを待って、練馬を検討すべき
- 大泉JCT地域を先行して事業化した理由
- 3案のB/C（費用対効果）が知りたい